

芦屋市女性活躍推進会議等の推進体制整備事業【兵庫県芦屋市】

地域の実情と課題

平成27年の国勢調査では、市内の30歳代以降の女性の労働力率が全国や県と比べ低い水準にある。また、市内の共働き世帯数が、夫が就業者で妻が非就業者の世帯数を上回り、今後も働くことを希望する女性はより増えることが見込まれる。

平成28年実施の男女共同参画に関する市民意識調査では、現在未就労の30歳代から40歳代の女性の就労意向率が高くなっている、希望に応じた働き方が実現できることや、能力が十分に発揮できる環境の整備が課題である。

事業の特徴

女性活躍コーディネーターによる常設の再就労・起業等の相談窓口を開設し、女性の再就労・起業等の支援講座等を開催。女性活躍推進会議等において、事業効果の検証や課題の整理を行った。

女性の就労・起業等の支援講座だけでなく、男性の家事・育児等に関わるための講座を開催した。

目的・目標

芦屋市女性活躍推進会議を構成する多様な主体が中心となり、女性の再就労・起業等の環境整備や支援体制を充実させる。講座の参加・受講者数を定員の90%以上を目標とし、令和2年度は、参加・受講者は67.7%(44/65)と目標達成とならなかった。また、申込者で見ても、83.1%(54/65)と目標を少し下回る状況である。

連携団体

女性活躍コーディネーターが、実施計画に基づき、就労等、国・兵庫県・近隣市等の相談窓口や支援機関と連携を行い、市に相談窓口を開設し、女性活躍推進会議は学識経験者、商工会、NPO等の代表により構成し、連携して女性活躍の事業を推進した。

事業の効果

再就労・起業等を希望しながら、実現できていない女性は様々な不安や問題を抱えているが、身近な市の男女共同参画センターに一時保育付きの相談窓口を開設することで、個々の実情に応じた就労等への短期的又は長期的な支援を行うことができた。また、合わせてスキルアップや働き方・ライフプランを考える講座を行うことで、再就労や起業等に至った件数までは把握していないが再就労や起業を考えている女性だけでなく、育児休業中の女性が参加するなど、幅広い支援につながった。

今後の課題

女性活躍コーディネーターによる常設の相談窓口について、相談件数が少ないため、周知等が必要である。講座等に関しては、申込者・受講者は例年より増えているが、定員に達していないため、対象者の明確化や周知等が必要である。

事業の概要

市の他事業

- ・男女共同参画センター
- ・子育て施策 など



- ・相談
(再就労, 起業など)
- ・講座参加

- ・情報提供
- ・同行支援 など

- ・講座参加

- ・情報提供
- ・家事や育児などに
関わる機会の増加

